

パルシシステム東京 2024年度平和の取り組み & フェアトレードについて

2024年度上期 ＜パルシステム東京の平和カンパの取り組み＞

世界の厳しい状況下で懸命に生きる子どもたちを支援する団体のプロジェクトを応援しています。組合員の募金が、大きな力となり、世界平和へと導きます。2024年度は総額687万20円のカンパが寄せられました。

- 贈呈団体7団体のうち2団体を紹介

パレスチナ（ガザ地区）の子どもたちへ
©パレスチナ子どものキャンペーン ▶



チェルノブイリの子どもたちへ
©チェルノブイリ子ども基金

今年も原爆投下日にヒロシマ・ナガサキを組合員と一緒に訪問しました！

- ・広島8月4日～6日組合員8名（小・中・高校生含む親子3組、大人2名）
- ・長崎8月8日～10日組合員6名（中学2名親子、大学生親子、大人1名）



9月Night Peace Café 多文化共生 大久保まち歩き

- 書き損じはがき等回収キャンペーンで協力している団体「シャプラニール＝市民による海外協力の会」との共催で、夜の大久保まちを歩き、日本人と共に生きる外国の方々の現状を知る、ナイトピースカフェを初開催しました。予想を超える応募があり、関心の高さが伺えました。

ライターの室橋氏のガイドで大久保の街をいろんな角度で見て歩きました→



9月第五福竜丸を知ろう、船上お掃除ボランティア

・今年、マーシャル諸島ビキニ環礁でアメリカが行った水爆実験から70年になります。江東区にある「第五福竜丸展示館」。この出来事を学ぶだけでなく、実際の船の船内・船上のお掃除をする貴重な機会に、組合員から多くの申し込みがありました。参加者からは、実際に展示館にきて、見て、触れて、保存していく大切さと大変さを実感しました」との感想が寄せられました。



パルシシステムの国際産直とフェアトレード

はじまりはバナナから～♡

パルシシステムの産直が国境を超えたのは、30年以上も前。

当時、フィリピンでは、バナナ農園における化学合成農薬の大量散布や、不公平な貿易摩擦による生産者の自立問題が深刻化しました。

パルシシステムは、適正価格で継続的な取引を行うフェアトレードの考えのもと、産地の生活と環境の改善をめざし、1990年に化学合成農薬不使用の『エコ・バナナ（バランゴン）』の供給をスタート。国際産直を広げる一歩を踏み出しました。



オルター・トレード・ジャパンとの協働

- 株式会社オルター・トレード・ジャパンは、1989年に首都圏コープ事業連合（現：パルシステム連合会）などの共同出資によって設立された世界各地に現地法人を持つ事業団体です。
- パルシステムとは、海外との産直協定やフェアトレード（民衆交易）商品の調達などを行い、ともに産地の自立支援や地域づくりに取り組んでいます。

- ホームページ <https://altertrade.jp/>



パルシシステムのフェアトレードショップ ★担当者秋山さんに聞きました！

組合員は、毎週届く商品の食材のほかに、チョコレートやコーヒー、オリーブオイル等、フェアトレードの商品もオンラインで注文します。

1番人気は、「チョコレート」

また、限定で、雑貨も扱っています。

かわいいフェルトのブローチなども人気です。



一番人気のチョコレート、パレスチナ支援でオリーブオイルや、ネパールのフェルト小物も♡



パルシステム東京の組合員活動では、関連団体からフェアトレードについて学んでいます！

※参考：企画のしおりより、抜粋。

- ・ APLA（あぷら）HP <https://www.apla.jp/>

フィリピン・ネグロス島、東ティモール、インドネシアなどで、「農を軸にした持続可能な地域づくりを応援。カタログやネットでおなじみの、バランゴンバナナ、カカオの生産者の実情など、民衆交易のモノの裏側にあるストーリーを伝えてます。

- ・ シャプラニール＝市民による海外協力の会

<https://www.shaplaneer.org/youcan/fairtrade/>

1972年に設立された南アジアと日本で貧困問題の解決に向けて活動する国際協力NGOです。現在はバングラデシュとネパールで児童労働について、フェアトレードの販売にも力を入れている。

앞으로도 좋은 교류를 할 수 있기를 바랍니다.

これからもより良い交流ができますように！



2023年度オンライン交流の様子

